

試合で起こるQ&A

Q1 インプレー中、他のコートからボールが転がって来た場合どうしますか？

A1 インプレー中に他のコートからボールが転がってくるなど、プレーヤーのプレーに妨害が起こった場合、レット(ポイントのやり直し)になる。

ただし、レットがコールされた時に、次の状況が起こった場合は、レットは取り消されそのポイントは成立する。

- ① レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打ったプレーヤー・チームの失点
- ② レットがコールされる前に打たれたボールが、明らかなウイニングショットまたはエースとなった場合は、そのボールを打ったプレーヤー・チームの得点

ポイントが終了した後で、インプレー中に妨害があったとして、ポイントのやり直しを要求することはできない。

Q2 インプレー中、他のコートからボールが転がって来た場合、どのプレーヤー・チームがレットのコールができますか？

A2 ボールが転がって来たコートに入っているすべてのプレーヤーがレットのコールができます。

Q3 レットをかけるタイミング？

A3 他のコートからボールが入ってきたり、妨害と判断したら、直ぐにコールする。

Q4 第2サービスの前に、他のコートからボールが転がって来た場合どうしますか？

A4 第2サービスのモーション前に、足元へ隣りのボールが転がって来た場合、妨害されたと判断しない。ただし、サーバーが第2サービスのモーションに入った後にボールが入ってきた場合、プレーが妨害されたとして第1サービスからポイントをやり直す。

Q5 インプレー中に帽子やポケットに入れたボールが落ちてしまったらどうしますか？

A5 相手プレーヤーが妨害されたと判断したら相手プレーヤーのみがレットをコールできる。

落としたのがその試合で1度目ならレット(ポイントのやり直し)になる。
2度目以降は故意に妨害したと判断して失点する。ラケットを落とすこと、シューズが脱げることは妨害に当たらない。
レットをかけずにポイントが終了したら、そのポイントは成立する。

ただし、レットがコールされた時に、下記の状況が起こった場合は、レットは取り消されそのポイントは成立し、妨害はなかったと判断する。

- ① ボールがコート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打ったプレーヤー・チームは失点する。
- ② コート内に正しく入ったボールが、ウイニングショットまたはエースであつたら、そのボールを打ったプレーヤー・チームの得点となる。

Q6 第2サービスからのインプレー中、第1サービスのフォールのボールを誤って蹴飛ばした場合どうなりますか？

A6 第2サービスからのインプレー中、第1サービスのフォールのボールを誤って蹴飛ばした場合、相手プレーヤーがプレーを妨害したと判断した場合、「レット」をコールすることができる。
2回目以降は、その度に相手への故意の妨害となり失点する。

試合で起こるQ&A

Q7 試合中スコアがわからなくなったらどうしますか？

A7 双方のプレーヤー・チームが同意できるスコアまで遡り、それ以降のプレーで双方が合意できるポイントを足したスコアからゲームを再開する。
合意できなかったポイントは取り消される。再開する時のエンドとサーバーは合意されたスコアに準じる。

Q8 レシーブのサイドを間違えてしまったらどうしますか？

A8 パートナー同士のレシーブの隊形が入れ替わっていることに気づいた時は、そのゲームだけは間違ったままでプレーを続け、そのペアが次にレシーブする順番のゲームになった時に本来の隊形に戻す。

Q9 サーブの順番を間違えてしまったら、どうしますか？

A9 ゲーム中に間違いに気づいたら、気づいた時点で本来のサーバーに代わる。
しかし、気づいた時すでにゲームが終了していたら入れ替わったままで続ける。

対戦相手と自分達との間で生じた順番の間違いの際は、ファーストサーブをフォルトした後に間違いに気づいたら、そのフォルトは取り消される。
正しいサーバーはファーストサーブから始める。

パートナー同士の間で生じた順番の間違いの際は、ファーストサーブをフォルトした後に間違いに気づいたらそのフォルトは取り消されず、正しいサーバーはセカンドサーブから始める。
サーブの順番を間違えていたとしてもポイントは成立する。

Q10 サービスをする前に、レシーバーのパートナーが必要以上に動く場合

A10 レシーバーのパートナーがネットの中央あたりで、サービスが打たれる前に必要以上にラケットや体、足を動かす行為に対して「妨害」と判断した場合、「コートバイオレーション」(スポーツマンシップに反する行為)を科される。

こうした行為が、インプレー中に明らかに故意として行われた場合には、妨害と判断され失点する。

Q11 相手選手がフットフォルトを頻発し、改善されない場合はどうすれば良いですか？
ダブルスの前衛にいと目に入ります。

A11 セルフジャッジの試合で「フットフォルト」を選手同士でコールはできません。
ロービングアンパイアを呼んで、フットフォルトをしていないか確認してもらう。
ロービングアンパイアがいない場合は、大会レフェリーを呼んで下さい。

Q12 ボールマークチェックは、オムニコートにも適用されますか？

A12 オムニコートでは行いません。クレートコートのみです。

Q13 ポイント間・ゲーム間(コートチェンジ間)の時間について

A13 ポイント間

アウトオブプレーになった瞬間から、次のポイントの第1サービスを打つまでの時間は、最長25秒とする。
第1サービスがフォルトの場合には、遅れることなく第2サービスを打たなければならない。

ゲーム間

エンド交代するとき、ゲーム終了のボールがアウトオブプレーになった瞬間から次のゲームの第1サービスを打つまでの時間は最長90秒とする。